

# 論文審査の結果の要旨

氏名 真瀬 昌司

本論文は3章からなり、第1章では、輸入愛玩鳥から分離された **H9N2** 鳥インフルエンザウイルスの性情を解析し、人に直接感染する可能性を持つ **A** 型インフルエンザウイルスが愛玩鳥の輸出入を介して世界的に伝播している可能性を示唆した。第2章では、2003年から2004年にかけて日本で発生した **H5N1** 亜型高病原性鳥インフルエンザの流行で分離されたウイルスの性情を解析し、その病原性を検討した。第3章では、2003年に中国から日本に輸入されたアヒル肉から分離された **H5N1** 亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスの性情を解析し、それが鳥及びマウスに高病原性を示す事を明らかにした。この結果は、家禽製品の輸入を介して高病原性鳥インフルエンザウイルスが持ち込まれ、公衆衛生および養鶏産業上の感染源となりうる可能性を明らかにした。

なお、本論文は3編の発表論文の内容をまとめたものであり、Eto M, Tanimura N, Imai K, Tsukamoto K, Imada T, Nakamura K, Yamamoto Y, Hitomi T, Kira T, Nakai T, Kiso M, Horimoto T, Sanada Y, Sanada N, Kawaoka Y, Yamaguchi S.らとの共同研究であるが、論文提出者が主体となって分析及び検証を行ったものであり、論文提出者の寄与は十分であると判断した。

従って、博士（生命科学）の学位を授与出来ると認める。